

報道関係各位

2026 年 10 月 1 日
ビジネスエンジニアリング株式会社

「統合報告書 2026」発行のお知らせ

ビジネスエンジニアリング株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:羽田 雅一、以下「B-EN-G」)は、本日、「統合報告書 2026」を発行し、当社コーポレートサイトにて公開したことをお知らせします。

https://www.b-en-g.co.jp/jp/ir/materials/integrated_report.html

なお、英語版の統合報告書につきましては、10 月末の公開予定です。

■統合報告書 2026 について

本報告書は、株主様・投資家様をはじめとする幅広いステークホルダーの皆様に、B-EN-G の持続的な企業価値創造についてご説明し、対話を深めていくことを目的としています。今年度は、下記の内容を拡充しました。

1. 事業競争力の解説

「AI 時代における mcframe の優位性」ページを新設し、mcframe が AI 技術と融合しながら進化を続ける姿勢を投資家の皆様に訴求。あわせて「システムインテグレーションビジネスの強み」「ライセンスビジネスの強み」「製造業の価値創造を支援する、2 つのアプローチ」を新設しました。加えて、各ビジネスの競争優位性と、現場社員の対話を通じて、互いの必要性を説明しています。

2. 新規事業と顧客協働の価値の可視化

現場作業向け DX ブランド「orishia」の始動を新規事業として掲載し、当社の新たな成長軸から生まれる価値を PR。また村田機械様・東和電気様・竹村製作所様の事例を、単なる紹介ではなくお客様の「自走型 DX」を伴走型で支える「価値共創のストーリー」として新たに掲載しています。

3. 経営監督体制の説明強化

「社外取締役座談会」を新設し、ガバナンスの実効性と持続的成長に向けた議論を、社外取締役の客観的な視点から訴求しています。

■掲載内容

- 企業理念・ブランドコンセプト/トップメッセージ/AI 時代における mcframe の優位性
- 価値創造ストーリー
価値創造のあゆみ/価値創造プロセス/価値創造を支える資本/システムインテグレーションビジネスの強み/ライセンスビジネスの強み/製造業の価値創造を支援する、2 つのアプローチ
- 中長期戦略
成長戦略「BE 2030」/CFO メッセージ/事業別戦略/顧客との価値共創事例/グローバル展開/新規事業

- 成長を支える基盤
サステナビリティ戦略／マテリアリティ／気候変動への対応／人権の尊重／多様性と機会均等、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの実現／人財戦略
- コーポレートガバナンス
社外取締役座談会／役員一覧／スキルマトリックス／コーポレートガバナンス／取締役会、各種委員会の活動状況／取締役会実効性評価・役員報酬／コンプライアンス／リスクマネジメント
- データセクション
財務ハイライト／財務データ／非財務データ／株式関連情報／会社情報

今後も、更なる企業価値の向上に取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

■ビジネスエンジニアリング株式会社について

ビジネスエンジニアリングは、製造業を中心としたお客様のデジタル変革を IT で支援しています。IT 企画からシステムの構築、導入、運用にわたるコンサルティングおよび支援サービス、ならびに自社開発のパッケージソフトウェア「mcframe」の販売、導入で豊富な実績を有しています。また、基幹業務システム(ERP)やサプライチェーン(SCM)、IoT 等で蓄積されたデータを活用して、システムの高度化やカイゼン活動をお手伝いしています。中国(上海)、タイ(バンコク)、シンガポール、インドネシア(ジャカルタ)、アメリカ(シカゴ)の 5 ヶ所に海外子会社を有し、海外進出企業に対しても、日本と現地でよりそいながら製品やサービスを提供し、お客様の経営課題を解決しています。

ビジネスエンジニアリング株式会社の詳細は <https://www.b-en-g.co.jp/> をご覧ください。